

【資料1】別紙「評価基準書」

大項目	中項目	No	評価項目	評価基準		配点	仕様書上の関連項目
				必須項目	任意項目		
1. 事業目的・前提条件の理解							
	目的・背景の理解		資産管理・証跡管理システムの重要度	資産管理・証跡管理システムに求められる役割と重要性の理解度	<ul style="list-style-type: none"> 「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」の理解度 秋田県環境における理解度 	10	全体
	秋田県環境の理解		ネットワーク構成など	LGWAN接続系及びマイナンバー利用事務系のネットワークにおける資産管理・証跡管理システムの役割と重要性の理解度			
	前提条件への適合性		統合基盤環境での構築手法	現行の秋田県統合基盤上で要件を満たし構築可能か			
2. システム機能・技術要件							
	機能の網羅性		要件への適合度	<ul style="list-style-type: none"> 必須要件について全て適合しているか 必要要件についてどの程度網羅されているか 	適合していない場合の代替手段が妥当性も鑑みて提案されているか	30	1.4 前提条件 1.7 機能要件 別紙「機能要件一覧」 1.8 導入・運用支援
	管理者目線での機能		システムの操作性・利便性	<ul style="list-style-type: none"> 直感的なUI マニュアルの充実 機能と独自性 	<ul style="list-style-type: none"> 直感的で操作がわかりやすい作りか マニュアルを見れば誰でも操作が可能か 複雑な作業を行う場合のサポート体制 管理者権限の柔軟性と運用負荷の軽減策 		
	効率化・セキュリティ対策		管理業務の効率化・セキュリティ強化の提案	システム管理者における業務の効率化・セキュリティ強化の提案がされているか	<ul style="list-style-type: none"> 資産管理・証跡管理システムの機能を用いた付加価値の高い提案となっているか 管理者が迅速に対応できるよう次ぎにとるべきアクションや確認画面などがわかりやすいか 		
3. 構築・移行スケジュール							
	計画の実現性		構築・移行スケジュールの妥当性	現行システムの終了までに向け、無理のない体制及び工程が明示されているか	リスク管理等も想定されたWBSが具体的に示されているか	20	1.5 スケジュール 1.9 並行稼働
	移行・検証の確実性		試験運用・並行稼働の手順	試験運用・並行稼働における手順が明確か	<ul style="list-style-type: none"> 現行システムを利用した移行手順が示されているか 手順書はエンドユーザー（一般職員）でも理解できる内容か 		
	業務影響度		業務影響の最小化	移行時における業務影響を最小限に抑える工夫がされているか	不測の事態に備えた体制が確保されているか		
	リスク管理		リスクの想定、洗い出し、対応方法	現時点で想定されるリスクや考えられるリスクの洗い出し方法やチェックリスト、対応方法が検討されているか	看過できないリスクが存在する場合の切り戻しなどを想定されているか		
4. 運用保守・サポート体制							
	定常業務		日常的な運用における問合せ体制	長期的な運用を見据えたサポート体制	<ul style="list-style-type: none"> 窓口の整備 技術的疑問に対する管理者への対応 問合せに対する迅速性 	10	全体
	障害・インシデント発生時		緊急時におけるサポート体制	障害やインシデントなどの緊急時及び復旧までサポート体制	重大インシデント発生時における調査やネットワーク隔離などを迅速に行うための支援体制		
	運用保守業務		定常的に発生する更新プログラムの適用やOSのメジャーアップデートへの支援体制	<ul style="list-style-type: none"> 定常業務の支援体制 業務改善への提言 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な支援 管理者向けの定期的なレクチャー・サポート体制 運用改善に向けた提言 		
5. 実績							
	受託実績		類似業務の受託実績	同額・同規模の類似業務における実績		5	全体
6. 価格							
	価格の妥当性		—	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度契約内容において予算内の価格設定となっているか 令和9年度以降の見積額において令和8年度との整合性がとれているか 	<ul style="list-style-type: none"> 積算根拠が明確か 提案価格に対する機能的な価値だけでなく見えない運用コスト（システム管理者の業務量）に対する効果が示されているか 	10	—
7. その他							

【資料1】別紙「評価基準書」

大項目	中項目	No	評価項目	評価基準		配点	仕様書上の関連項目
				必須項目	任意項目		
	女性活躍の推進		—	<ul style="list-style-type: none"> ・労働局の受付印が押印された一般事業主行動計画の策定・届出の写し ・知事が交付する秋田県えるぼしチャレンジ企業認定通知書の写し ・法令に基づく認定(えるぼし、プラチナえるぼし、くるみん、プラチナくるみん、ユースエール)に関する認定通知書の写し ・秋田県知事表彰の受賞に関する表彰状の写し ※1 ※1「秋田県知事表彰」は、「女性活躍・両立支援企業表彰」、「子ども・子育て支援知事表彰」、「男女共同参画社会づくり表彰」とする	—	5	—
	賃金水準の向上		—	所得税法第226条第1項の規定に基づく「給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表」(直近2か年分)又は、税理士等の第三者による賃上げ実績確認書類	—	5	—
	県内情報関連産業の振興		—	県内に本社、支社、事業所等の拠点を有し、拠点に所属する従業員の本業務への従事が認められるか。 (※本社、支社、事業所等の拠点を有することは、企画提案競技時に提出を求める企画提案書により判断する。 ※県内拠点の従業員の本業務への従事は、企画提案書に実施体制の明記を求め、実施体制の内容で判断する。)	—	5	—